

われわれは、 確かに よい社会を 創造り得る。

羽仁もと子*

自由学園は、「思想しつつ、生活しつつ、祈りつつ」
「生活即教育」を教育理念に、「どれだけ多くの知識
を覚えているか」ではなく、「いかに自ら学び、自ら考
える力を育てるか」を中心課題として、一世紀にわた
り人を育ててきました。

環境破壊、紛争や戦争、さまざまな差別、貧富の格差
など、困難な問いに満ち溢れている今、その自由学園
の教育のあり方は、色褪せるどころか、いっそう必要
とされているのではないのでしょうか。

自由学園協力は、こうした自由学園の教育を支え
ていくための寄付を、保護者や卒業生、そして自由学
園の教育にご賛同いただける方々に広く募っています。
自由学園の教育をよりいっそう充実させ、一人でも
多くの若者が、社会の問いに正面から向き合い、乗
り越えることができるようにし、「よい社会を創造
る」一助になりたい、と考えております。

みなさまのご協力を、心よりお待ちしております。

*自由学園創立者の一人、羽仁もと子の著作集『教育三十年』の中
の言葉。「われわれはよい社会を創造しなくてはならない。そうし
てわれわれは、確かによい社会を創造り得る」

ご賛同いただける皆さまへ。 寄付をお待ちしています。

寄付をいただくことで、どなたでも
自由学園協力会にご入会いただけます。

定期寄付

協力会の会員となり、毎年一
定額を定期的にご支援いた
だく方法です。一口3,000円
から、何口でも申し込むこ
とができます。

随時寄付

どなたでも、いつでも、いく
らでも、ご寄付いただけます。
毎年7月に発行される「協力
会だより」にお名前を掲載
いたします。

さまざまな入金方法をご利用いただけます。

事務局へ持参

自由学園・協力会事務局を
おたずねください。

銀行振込

りそな銀行 田無支店
普通 3733787
口座名：自由学園協力会

郵便振替

00140-8-67459
加入者名：自由学園協力会

銀行自動引落し コンビニ払い クレジットカード利用

下記お問い合わせ先までご
連絡ください。必要書類を
お送りいたします。

[寄付金は税金控除の対象となります]

文部科学省より「特定公益増進法人」の指定による「所得控除制
度」および「税額控除制度」の適用を受けておりますので、自由
学園へのご寄付につきましては、確定申告により税金の控除を受
けることができます。

お問い合わせはお気軽に。

定期寄付、随時寄付、ボランティア参加、南沢フェスティバル
各イベントのことなど、お気軽にお問い合わせください。

http://www.jiyu.ac.jp/kyoryokukai/

kyoryokukai@jiyu.ac.jp

042-428-4232

〒203-8521 東京都東久留米市学園町 1-8-15 自由学園協力会



「よい社会」
を
つくろう。



自由学園協力会 寄付と入会のご案内



わたしたちの
寄付が、
ささえるもの。



10万㎡の
キャンパス

自然とのふれあい、農業や
養豚、清掃・管理など、実際
に経験するためには、広大
なキャンパスが必要です。



そこで本物にふれ、自ら考え、問
題を発見し、それを解決するこ
とができる力を養います。

「生活即教育」

学園の創立者、羽仁吉一・もと
子両先生が提唱した教育理念
が、「生活即教育」。教室の中
のみでなく、「自労自治」を営み
ながら送る1日24時間すべてが
勉強である。それが、自由学園
の考え方です。



800人の教育

幼児生活団から大学部ま
で、約800人の生徒・学生が
自由学園で教育を受けるた
めに、年間約1億円、生徒1人
あたりに12万円以上の支援
をしています。



施設と人材

90周年記念事業募金では、
人材育成基金も募り、若い
教員の育成にも活かされて
います。



毎年の寄付とは別に、10年
ごとの周年寄付は、体育館
や講堂など様々な施設の
建設に役立てられてきまし
た。

自由学園はまもなく100周年。 協力は、支え続けます。

自由学園協力は、学校法人自由学園の経営を支える活動をして
います。

趣旨にご賛同いただける方は、寄付をいただくことにより、どな
たでもご入会いただけます。

また自由学園協力は、自由学園への寄付活動のほか、キャン
パスを美しく保つための「キャンパス整備ボランティア」や、多く
の方に自由学園を知っていただくため、「南沢フェスティバル」
やコンサート、講演会などのイベントも企画・運営しています。

知る 自由学園協会についてくわしくは
<http://www.jiyu.ac.jp/kyoryokukai/>



参加する 自由学園協会 facebook ページ

